

平和を考える

古堅中学校 三年 六組 池原 百恵

「平和ってなんだろう。」

平和とは何か？改めて考えた事がないことに気がつきました。

私達にとって平和な日々は当たり前前のことです。それを何かと聞かれてもイマイチぴんとこないのが正直な考えでした。

しかし、この今の平和は昔からあったわけではありません。日本は昔からたくさん争いをおこしていました。その中でもやはり印象に残るのは第二次世界大戦「太平洋戦争」です。世界をも巻き込む大きな戦争となりました。

とくに沖縄戦は、私達の先祖や土地に大きな影響を及ぼしました。多くの子供達が学徒隊として出陣し、多くの戦死者が出て、多くの場所で集団死がおこりました。

また、広島・長崎には原子爆弾が投下され

ここでもたくさんの人々が亡くなりました。日本はこの経験から現在の憲法に非核三原則を折り込むことになりました。

ですが、原爆の恐ろしさを経験したこのない他の国ではどうでしょう。

今でも、お隣の北朝鮮では核開発をしているというわさが後をたちません。そして弾道ミサイルの発射の問題は日本でも大きなニュースとなりました。

また、現在の世界の国々でも紛争や民族間対立、宗教対立が大きな問題になっています。

アフリカのスーダンのある地方では、アラブ系の武装集団と非アラブ住民の間での民族紛争が現在でも続いています。十五万人を超える人々が虐殺され、何百万人ものが難民になったと言われています。このような対立はこれからも増え続けるだろうと予想されています。

このように日本の歴史や現在の世界の状況について考えてみると、今の日本はとても

平和なんだなあということが分かります。

それでは世界が平和になるためには私達、日本はどうしていけばよいのでしょうか。

私は、その為には日本の戦争での体験を世界中に伝えていくことと、世界唯一の被爆国として核保有を簡単に認めず、核開発問題について世界をリードして阻止していくべきだと思えます。

そうして、日本の氏名をしっかりと果たした時、世界の全ての国が人種の違いや宗教の思想の違いで争うことがなくなり、お互いを認め、尊重しあうことができる本当の世界平和が築かれることでしょう。

戦争で亡くなっていったたくさんの方々の命をむだにしないためにも・・・。

私ははやくその日が来るのを祈っています。